





コースNo.40明治大正の傑物・大隈重信公を偲んで

コース作成 浦川

- 起点 佐賀城本丸または佐賀県立博物館、美術館
- 距離 約7.5キロ
- 見所 2021年に没後100年を迎えた、佐賀七賢人の一人・傑物大隈重信公の功績を称え、共にその足跡を探訪
- 注意点 交通量多いところを含みます。交通ルールを守って。
- コース概略
- ①重信公の能力を引き出した直正公の像に一礼 
  - ②大隈重信記念館・旧宅生家(年末年始休館、9時から17時入館料330円)   
生涯を知る記念館と武家屋敷の面影を残す生家。誕生の地を踏みし目、大隈巡りスタート。
  - ③旧古賀家住宅(旧古賀銀行創設者、古賀善平の居宅。大隈も帰佐の際には度々宿泊した。) (月曜日休館 9時から17時 見学無料)
  - ④龍造寺八幡宮(1850年枝吉神陽が義祭同盟設立の地。大隈は17歳で義祭同盟に加わる)
  - ⑤佐賀バルーンミュージアムで休憩と買い物 
  - ⑥弘道館跡(大隈は7歳で入学。優秀な成績を修めるも、漢学を中心とした閉鎖的な教育に反発し18歳で館を離れる。)
  - ⑦鶴屋菓子舗(大隈の大好物。丸ぼうろの老舗。古文書から製法を割り出した幻の菓子「肥前ケシアド」などお土産にも最適)
  - ⑧龍泰寺(大隈の墓参りで威徳を偲び、受験・学問の大願成就を祈願するのも良いのでは) 
  - ⑨島義勇像の前を通り、ゴールへ。佐賀城本丸記念館で七賢人のおさらい。

\* 重信公について

1838年生  
1922年没

佐賀藩士の大隈信保・三井子の長男として生まれ、7歳で弘道館入学18歳で離れ、蘭学寮へ入学し洋学を学ぶ傍ら義祭同盟で尊皇思想を学び、副島種臣と共に脱藩し京へ向い志士活動を行う。  
明治政府では外国事務局判事を皮切りに大蔵卿、外務大臣、農商務大臣など歴任。  
グレゴリオ暦の導入、鉄道の敷設、貨幣制度の整備、東京専門学校(後の早稲田大学)などの開校等今日に残る様々な功績を残している。  
1898年板垣退助と共に、隈板内閣を組閣、総理大臣になる。これは日本初の政党内閣と言われている。1914年には再び総理大臣に就任。2年後に79歳で解散となるが、これは総理大臣として最高齢である。

- \* 付録
- 1. 幼名は八太郎。八は龍造寺八幡宮の八。末広がりの意味も。
  - 2. 奉行が逃げ出した長崎奉行所の事務で本領発揮
  - 3. 葬儀には30万の国民が記帳  
他にも数多くのエピソードあり。

